

みんなの議会 おおさと

令和3年11月1日

NO.204

定例会



町花：つつじ



いっぽん集中

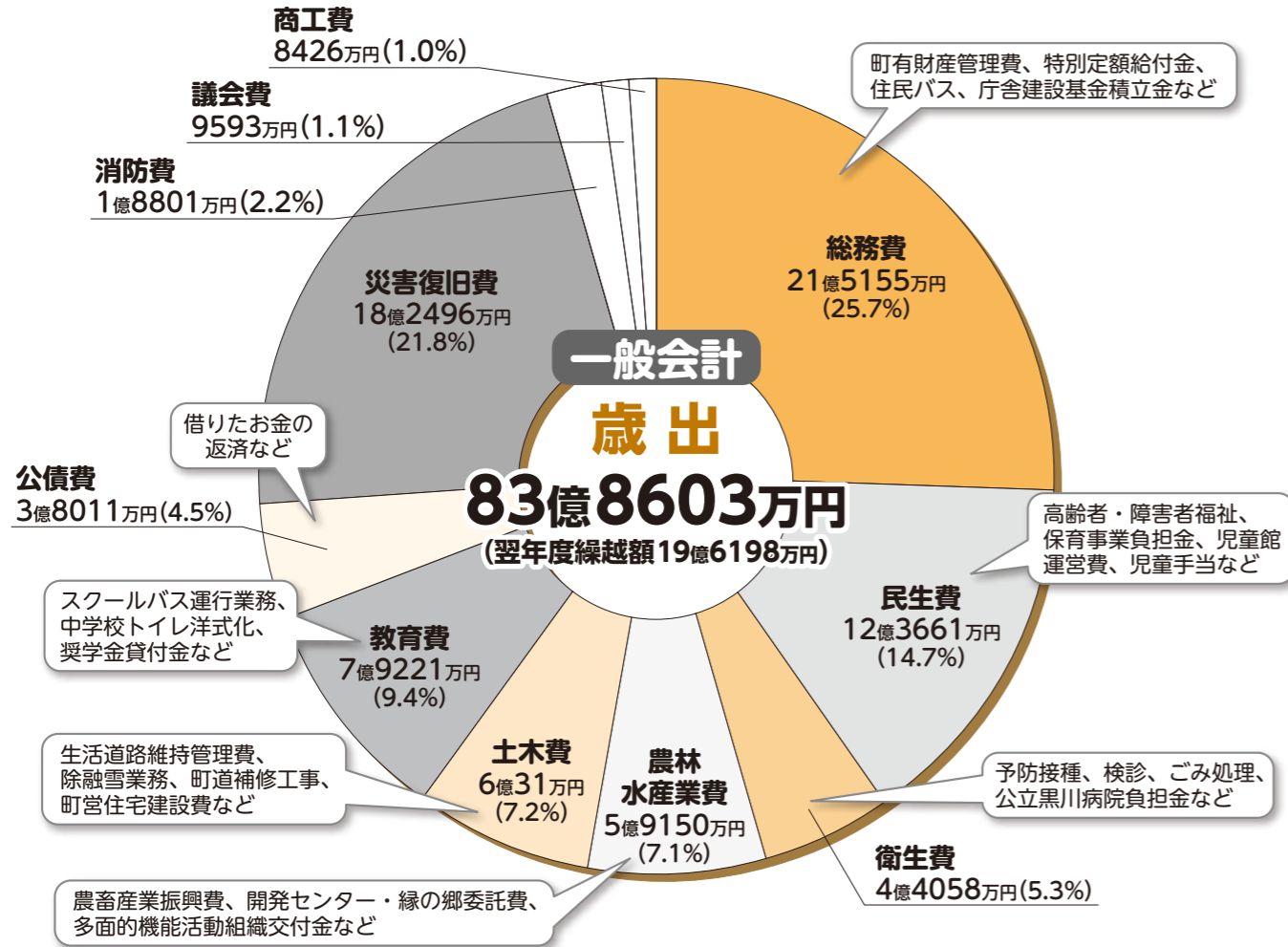
(大郷卓球スポーツ少年団)

- P.2 令和2年度決算
- P.6 22項目の意見を町当局へ提言
- P.14 一般質問
- P.27 追跡レポート その後どうなった

令和2年度

災害復旧・新型コロナ関連費

決算 30億円増



●各種会計歳出決算額●

会計別	令和2年度決算
一般会計	83億8603万円
特別会計	
国民健康保険	8億8228万円
介護保険	10億3302万円
後期高齢者医療	8093万円
下水道事業	2億5105万円
農業集落排水事業	6739万円
戸別合併処理浄化槽	5566万円
宅地分譲事業	1191万円
水道	
収益的収支	2億4302万円
資本的収支	9724万円
合計	111億852万円

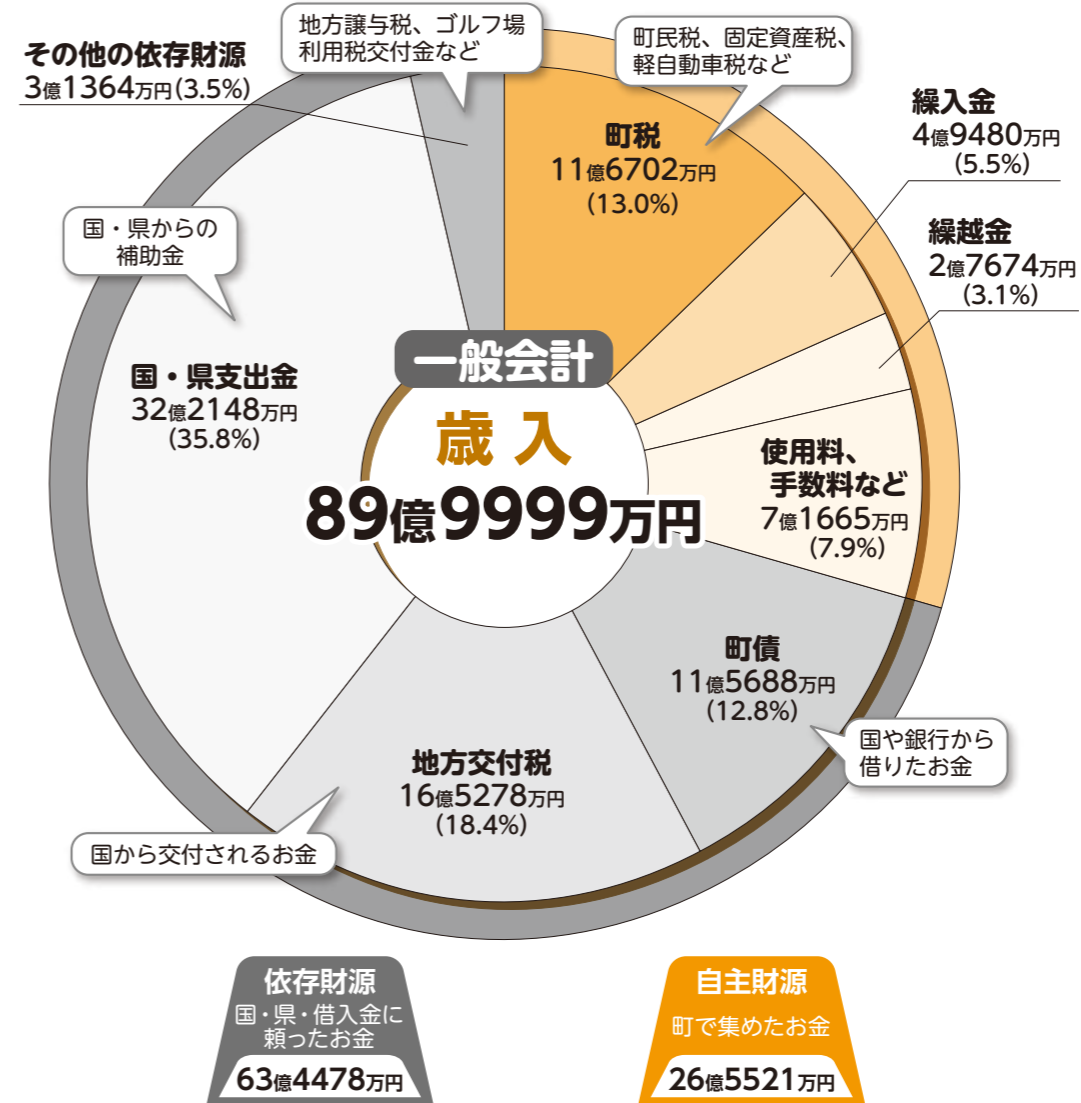
※1万円未満は四捨五入

主な事業

- 令和元年東日本台風災害復旧 18億2496万円
- こども園、小・中学校バス運行経費 5858万円
- 小・中学校GIGAスクールに係る経費 1億829万円
- 小・中学校、保育園等給食費無償化補助 3486万円
- すこやか子育て医療費助成 2279万円
- 強い農業担い手づくり総合支援交付金(被災農業者支援型) 2億4576万円
- 消防機能整備 1244万円
- 特別定額給付金事業 8億457万円

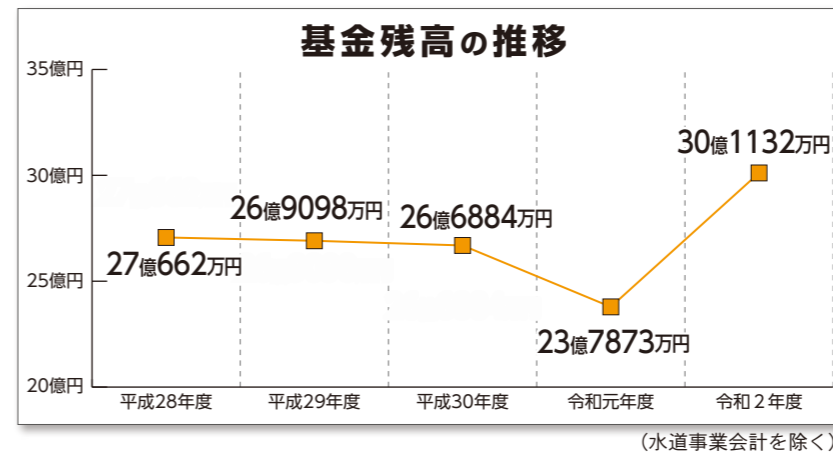
一般会計

83億8603万円

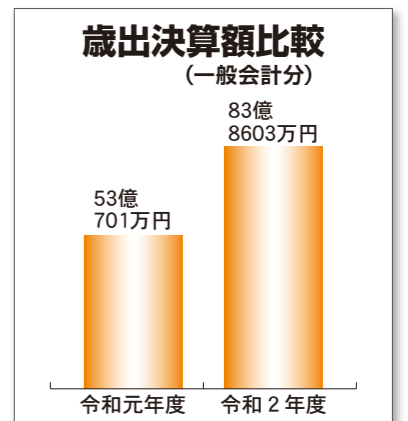


令和3年第3回定例議会は、9月14日から30日までの17日間の会期で開かれた。令和2年度決算を審議し、一般会計、7つの特別会計および水道事業会計を含む、総額111億円の決算を認定した。また、提案された補正予算10件、報告2件、同意2件などの議案を審議し、原案のとおり可決した。

基金残高の推移



歳出決算額比較 (一般会計分)



一般会計・特別会計・水道事業会計決算を

徹底検証



佐藤 牧 副委員長



熱海 文義 委員長

令和2年度の決算を審査するため、特別委員会を設置し、延べ5日間にわたり、各課ごとに質疑応答を行い、慎重審議・検証しました。本会議では委員会審査報告の後、一般会計及び各種会計を認定しました。

決算審査

決算審査

庁舎建設基金積立

問 1億円の積立を今後も継続できるのか。
答 10億円を目標に今後も継続していきたい。



窓口一本化

問 現金出納を会計課に集約する体制を構築してほしいという意見があるが。
答 住民サービスの向上を第一に検討していく。

おおさと地域振興公社

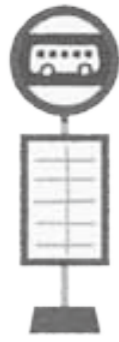
問 公社の運営改善委員会での意見の内容等は。
答 様々な厳しい意見も出ており、それを運営に反映していく。

柏川県営ほ場整備

問 これまでの進捗状況は。
答 基本計画と測量設計を委託している。令和5年頃から着工予定。

バス停の新設

問 鶉崎(恵の丘)と羽生(杉山医院)に住民バスの乗り入れを。
答 離れているが恵の丘団地入口というバス停がある。杉山医院には乗り入れを検討している。



地域おこし協力隊

問 なぜ続けてもらえなかったのか。
答 魅力があり、任期後も続けたかったが、現行の給料では厳しかったためと伺っている。

マイナンバーカード

問 具体的な使い道は。
答 マイナポイントの付与、健康保険証としての利用等が予定されている。確定申告の電子申請も可能となる。



新型コロナウイルス 拡大防止協力金

問 申請してから振込されるまでの期間は。
答 申請の受付から振込むまで1カ月程度。

中央公民館

問 図書館の利用状況は。
答 未就学児が親と一緒に来館することが多くなっている。

ふれあい号

問 登録者165名の利用状況は。
答 年間利用率は31%くらいである。



大学生等学業 継続支援給付金

問 町外に出て学業に励んでいる学生への支援は。
答 住民票が本町にある学生のみが支給対象となっている。今後このような事業をする場合にもう一度検討する。

防犯灯LED化

問 防犯灯のLED化はいつまで。
答 令和6年度までに100%にする見込みである。

森林環境譲与税

問 どのように活用していくのか。
答 荒れている私有林を黒川森林組合と整備していく。



▲移転された中央公民館 (利用状況調査)



▲タブレット活用での授業 (大郷小)

GIGスクール構想

問 児童・生徒一人一台タブレット端末配備となったが、学習の成果は。
答 電子黒板を中心に、タブレットを毎週使っている。双方方向の授業内容に転換を図る。

施設入居待機者

問 入居希望者数は把握しているのか。
答 郷和荘で23名、ウイングで21名、オーベルジュで29名の方が入所待ちとなっている。

町当局へ22項目の意見を提言

推進 無形文化財の伝承を

無形文化財の伝承に町が主体となり、取り組まれない。

- 問** 教育の一環として伝承に取り組んでは。
答 「ふるさと学習」として取り組んだが定着せず、今後教育の一環としては難しい。

強化 感染症対策を万全に

新型コロナウイルス感染症対策に万全を期されたい。

- 問** コロナ禍で残業が多い。どのような対策を講じているのか。
答 接種体制を強化し、今後やっていきたい。

拡充 返礼品の充実を

ふるさと納税の返礼品の充実を図り、寄附金の確保に努められたい。

- 問** 前年より半減したが、今後どのように取り組んでいくのか。
答 新たな返礼品開発と情報発信を強化していきたい。

推進 公有地の有効活用を

公有地の有効活用を図られたい。

- 問** 旧町営住宅跡地（田布施・東沢団地）等を今後どのように考えているのか。
答 境界確定測量後、公売する予定。

改善 受診率の向上を

各種検診の受診率向上に努められたい。

- 問** 受診率減少の要因は。
答 新型コロナウイルス感染症の拡大が受診控えに影響した。

見直し 民俗資料の展示に努力を

歴史民俗資料の展示に向けた整備・整理に努められたい。

- 問** その後の整理の経過は。
答 展示にふさわしいものの条件整備を早めに行えるよう努力する。

改善 団員の待遇改善を

消防団員の待遇改善と確保に努められたい。

- 問** 団員の報酬改善をすべきでは。
答 黒川圏域の市町村と協議し、来年度以降取り組んでいこうと考えている。

改善 総合公共交通を早期に

住民バス及びふれあい号の利便性を考慮した、総合的な公共交通体制を早期に構築されたい。

- 問** 抜本的な見直しを早期にされたい。
答 スクールバスとの統合案以外はいくつかでき上がっている。

推進 タブレットの有効活用を

教職員へのタブレット研修の充実、有効活用に努められたい。

- 問** なかなか教職員の研修が進んでいないようだが、今後どう対応していくのか。
答 令和2年度は先進地視察を行い、3年度は教育委員会として1回研修した。

改善 不法投棄対策を

ごみの不法投棄対策と減量化に努められたい。

- 問** 不法投棄の巡視の回数を増やしては。
答 抑止が一番大切だと思うので、公用車でも巡回している。

強化 鳥獣被害対策の強化を

鳥獣被害対策実施隊等の強化を図り、被害防止に努められたい。

- 問** 箱罟を常時置いておくことはできないのか。
答 電気柵や防止柵等を設置していただく。そのほかに有効な場所に箱罟を設置する。

推進 事故防止の徹底を

道路の環境整備を徹底し、事故防止に努められたい。

- 問** 関係機関と連携をとりながら、交通安全対策を。
答 危険箇所について、町、県、警察署と合同で巡視を行っている。

改善 危険ブロック塀の解消を

危険ブロック塀の早期解消に向けて対策を講じられたい。

- 問** スクールゾーン以外でも速やかに対応を。
答 スクールゾーン内は調査済み。それ以外は申請があれば調査して補助する。

拡充 給食に地場産品を

学校給食での地場産品の消費拡大に努められたい。

- 問** 地場産品（農産物）の利用状況は。
答 公社及び農協の協力を得ながら導入を進めている。

改善 コンビニ収納の実施を

住民サービス向上のため、収納体制、窓口一本化の構築を図られたい。

- 問** 住民サービスのためコンビニエンスストア収納を実施されたい。
答 コンビニ収納とスマホ収納は来年度開始する。

拡充 バンク活用で定住促進を

空き地・空き家バンク制度を活用し、定住促進を図られたい。

- 問** 登録件数の実績が上がらないのはなぜか。
答 ホームページの情報提供だけだったが、今後、物件の掘り起こしとメールマガジンによる情報発信を行っていく。

推進 計画的な浚渫工事の実施を

町内河川の浚渫工事を計画的に進められたい。

問 令和2年度では西光寺川以外の浚渫工事の計画がなかったが。
答 今年度、西光寺川が浚渫完了予定。来年度、安戸川の浚渫を進める予定。

改善 有収率の向上を

水道事業会計

石綿セメント管の更新と漏水調査を早期に行い、有収率の向上に努められたい。

問 有収率向上の努力を。
答 老朽管の更新と漏水調査に努めていく。

推進 介護予防の対策を

介護保険特別会計

認知症総合支援事業を周知し、介護予防の対策を図られたい。

問 どのような対応をしているのか。
答 認知症初期集中支援チームを周知するとともに包括支援センターと連携している。

推進 加入促進を図れ

- 下水道事業特別会計
- 農業集落排水事業特別会計
- 戸別合併処理浄化槽特別会計

討論

一般会計

反対

千葉勇治議員

基幹産業である農業の後継者対策に取り組みが足りない。高収入で買収した中村原の古民家、解体した公営住宅の跡地、開発センターの有効活用が進んでいない。民間活力による財政健全化構想は実績が見当たらない。不登校問題についても対策の成果が上がっていない。コロナ対策で、PCR検査や抗原検査の財政支援を提案したが、応えていない。以上のことから反対する。

賛成

吉田耕大議員

一般会計歳出では、前年度より約30億増額となった。主に令和元年東日本台風の影響復旧事業、新型コロナウイルス感染症の対策事業が本格化した。また、18歳までの医療費助成、学校給食費無償化、特別定額給付金、割増し商品券発行事業、水道料金基本料3か月免除など、町民への大きな支援につながり、すべての事業が可能な限り遅滞なく進んだことから賛成する。

賛成

田中みつ子議員

令和元年東日本台風の災害復旧事業、新型コロナウイルス対策として大学生への学業支援給付金、特別定額給付金、割増商品券発行事業、水道基本料金の減免など町民に対する適切な事務事業を評価し認定に賛成する。

賛成

高橋重信議員

すべての事業が遅滞なく行われた。災害復旧事業では被災者に寄り添った対応、知事等への直接交渉、満額に近い予算の獲得等、迅速な対応が被災者の信頼につながったことから賛成する。

監査委員の意見（要約） 災害復旧・復興事業、感染症対策事業など、 全ての事務事業に進捗が認められる

一般会計

令和2年度において、主に令和元年東日本台風の災害復旧事業として、公共土木施設、農地農業用施設の災害復旧工事、合わせて約1000カ所並びに農業災害において約400件の事業が行われ、さらに、新型コロナウイルス感染症の対策事業への取り組みが本格化した。全ての事業が可能な限り遅滞なく進捗したと認められる。また、大学生等学業継続支援給付金、特別定額給付金、5割増商品券発行事業、水道料金基本料の3カ月間減免したこと等は町民への大きな経済的支援につながったことが認められた。

介護保険特別会計

健康増進につながる予防対策の推進を図られたい。

下水道事業、農業集落排水事業、戸別合併処理浄化槽特別会計

公共用水域の水質保全及び町民の生活様式の改善のため水酸化加入促進に努力された。公会計導入に向けた諸準備方よろしく願いたい。

宅地分譲事業特別会計

高崎団地の残り一区画の分譲地売却に向け努力された。中粕川地区と中村地区の被災者支援と定住促進事業が計画どおり早期に完了されることを期待する。

水道事業会計

漏水調査及び水道管の更新布設を計画的に実施する必要がある。

その他改善及び要望する点

1. 町税等の収入未済額について、収納成果を向上させていただきたい。不納欠損処分の際は実情調査や財産調査の実施を望む。
2. ㈱おおさと地域振興公社の過年度返納金について、早期解消に向けた努力を望む。
3. 災害時の避難所開設等について、適正な配置を望む。
4. 住民サービス向上のため、税務課、地域整備課等の現金出納を会計課に集約する体制の構築を。
5. 公会計導入に向けた備品台帳の整理を。
6. 職員のワークバランスの推進に関する指針並びにグループセッションシステムの利用共有の実行に各課徹底を望む。
7. 契約書の約款とおりの事務処理を徹底すべきである。
8. 定額運用基金において期首残高と決算期残高に差異が生じている。運用基準に準拠することを望む。

議案採決結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	吉田耕大	佐藤 牧	赤間 茂幸	大友 三男	佐藤千加雄	田中みつ子	熱海文義	石川 寿和	和賀直義	高橋重信	石垣正博	千葉勇治	若生 寛	石川良彦
決算認定	一般会計歳出	83億8603万円	認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険歳出	8億8228万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険歳出	10億3302万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-
	後期高齢者医療歳出	8093万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	下水道事業歳出	2億5105万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業集落排水事業歳出	6739万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽歳出	5566万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
宅地分譲事業歳出	1191万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
水道事業	①収益的支出：2億4302万円 ②資本的支出：9724万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

○：賛成 ●：反対 継続：継続審査 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長（石川良彦）は採決に加わらない。

(第5号)

中粕川宅地造成事業に 2億594万円

一般会計と7特別会計及び水道事業会計の補正予算が提案され、可決されました。

一般会計補正予算(第5号)は2億8903万4000円及び(第6号)は3938万8000円を追加し、歳入歳出それぞれ55億9376万6000円となりました。

めだま



今回の主な

60万円

ひとり親家庭支援金

コロナ禍により経済的に厳しいひとり親家庭への支援金



問 内容は。
答 児童手当を支給している非課税のひとり親世帯に1人あたり1万円が改めて支給される。

2億594万円

中粕川宅地造成事業



問 町の借入金の限度額が約2倍となっているが。
答 工事の前倒しのため、事業費を増額している。国の交付税措置で95%が支援される。

805万円 PCB安定器調査業務

公共施設の照明器具安定器のPCB調査



問 この事業をなぜ行うのか。
答 昭和52年までの蛍光灯器具にPCBが使用されているものがある。令和5年3月までに処理する必要がある。

9609万円 希望の丘屋根外壁塗装工事等



問 工事完了の予定は。
答 令和4年3月末までに完了予定である。

5009万円 町道除融雪業務



6486万円 町道補修・改良工事



問 令和元年東日本台風による被害箇所が新たに発見された場合はどう対応するのか。
答 災害関連の工事は終了しているが、危険な道路の損壊発見時は緊急時対応で処理する。

(第6号)

新型コロナ関連費に3939万円

コロナ感染症拡大防止協力金 2185万円

問 協力金の内容は。
答 8月20日から10月1日までの営業時間短縮に全面協力した飲食店15件の協力金である。受付後、約3週間で支払う。

事業継続支援交付金 1400万円

問 交付金の内容は。
答 7月から12月までの期間、20%以上売上げが減少した事業者に1件当たり14万円の交付金である。受付後、約3週間で支払う。

その他の質疑

流域調査業務

問 場所と具体的内容は。
答 石原地区、中在家橋の排水路改善のための流域調査と対策の検討及び交差点の改良である。

ため池改修工事

問 どのような工事なのか。
答 遠多田ため池の西側を改修する。東側は住宅があり、緊急性があったため、令和2年度で対応済み。

赤道の補修・改修

問 道路補修の優先順位はどう決定するのか。
答 交通の支障等を関係課と協議し判断する。

大窪城址公園修繕

問 内容は。
答 公園内の最上部の階段と手すりの修繕である。

バス機器購入

問 備品購入の内容は。
答 住民バス冬用タイヤ及びドライブレコーダー購入。

中粕川地区復興まちづくり 嵩上げ宅地分用地取得

一般議案は条例の改正3件、財産の取得1件、同意2件について審議し、原案のとおり可決しました。



**【議案第48号】
財産の取得**
中粕川地区に復興まちづくり事業（嵩上げ宅地分）の事業用地として、8815・98mを3958万4583円で取得するもの。

問 土地の種類が宅地と畑と雑種地、基準単価はどこから出しているのか。
答 農地、雑種地は町で定めている基準がある。宅地は不動産鑑定を行った結果を基に町で決定している。

問 地権者の同意は得られているのか。
答 全て整い仮契約まで終わっている。



▲ 1日も早い復興を願い...

**粕川地区復興まちづくり
堤防復旧合同着工式**

9月26日（日）に旧粕川小学校跡地において、中粕川住民及び関係者の同席のもと、国と町との合同着工式が行われました。

議案採決結果一覧表

分類	議案名 (略称)	採決結果	吉田耕大	佐藤 牧	赤間 茂幸	大友三男	佐藤千加雄	田中みつ子	熱海文義	石川壽和	和賀直義	高橋重信	石垣正博	千葉勇治	若生 寛	石川良彦	
報告	健全化判断比率について	報告のみ															
	資金不足比率について	報告のみ															
同意	教育委員会委員（高橋 幸也 氏）	同意	無記名投票														
	監査委員（雫石 顕 氏）	同意	無記名投票														
議案	個人情報保護条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
	手数料徴収条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
	財産の取得について	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
補正予算	一般会計（第5号）	55億5438万円（2億8903万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	一般会計（第6号）	55億9377万円（3939万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険（第1号）	8億9908万円（341万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険（第1号）	10億6983万円（999万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	後期高齢者医療（第1号）	8350万円（47万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	下水道事業（第1号）	2億5444万円（535万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業集落排水事業（第1号）	5593万円（175万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽（第2号）	7039万円（12万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	宅地分譲事業（第2号）	5億1469万円（1億7999万円↑）	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	水道事業会計（第1号） ①収益的支出：2億3323万円（72万円↑） ②資本的支出：2億8968万円（1820万円↑）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議発第1号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書（案）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

(↑)は増額、(↓)は減額
可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長（石川良彦）は採決に加わらない。

議案第45号

個人情報保護条例の一部改正

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の改正により、引用文言と引用条文の条ずれを改正するもの。

議案第46号

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に関する条例の一部改正

番号法の改正により、引用条文の条ずれを改正するもの。

議案第47号

手数料徴収条例の一部改正

法律の改正による地方公共団体情報システム機構がマイナンバーカードの発行手数料を徴収することができるとされたため、引用条項の削除及び条ずれを改正するもの。

人事案件

教育委員会委員

教育委員会委員に高橋幸也氏を任命することに全会一致で同意しました。

（任期：令和3年12月1日から4年間）



たかはし ゆきや
高橋 幸也 氏

監査委員の選任

監査委員に雫石顕氏を選任することに賛成多数で同意しました。

（任期：令和3年11月2日から4年間）



しずくいし けん
雫石 顕 氏



行政のデジタル化を急げ

オンライン化の環境を整える(町長)

問 過疎・高齢化に伴い、行政サービスの維持費も増加する。よって行政のデジタル化により、費用削減はもとより、町民の生活の利便性を実感できるようにするために、国はデジタル化を強力に推し進めようとしている。

答 町長 ※1DX計画で示されている、行政手続きのオンライン化は行っていない。県内で同じベンダーを利用している3市町(塩釜市・山元町・大郷町)と県で昨年10月に基幹系システムの※2自治体クラウド化に関する検討会を実施した。

問 総務省からデジタル庁に変わる間、本町に対して

答 総務課長 自治体クラウド計画を進めている。

問 自治体クラウドによって、本町のシステムに係る経費が3割〜4割程度の経費削減ができるという。計画等を伺う。

答 総務課長 自治体クラウド計画を進めている。

問 地方行政におけるシステムの標準化について、基幹情報の17業務を、2022年までに終えることができるのか。

答 総務課長 総務省からの通達によって、標準化の共通化すべき様式のレイアウト等について、現在進行している。

問 デジタル社会構築に向けた、各施策に取り組む事。地方行政におけるシステムの標準化について、基幹情報の17業務を、2022年までに終えることができるのか。

答 総務課長 自治体が重点的に取り組む事項として、全庁的な推進体制・外部人材の活用・情報システムの標準化等。

問 自治体クラウドによって、本町のシステムに係る経費が3割〜4割程度の経費削減ができるという。計画等を伺う。

答 総務課長 自治体クラウド計画を進めている。

いしがき まさひろ 議員
石垣 正博

外部人材の確保を
令和2年12月のDX計画時、外部人材登用した自治体に対し、特別交付税措置として措置率0.5の補助がある。これをもって、

開発事業の規制強化を
6月の定例議会において、大規模開発事業に対して、条例を作るべきではないかと、町長は次の機会

早急に人材登用を考えていくべきだ。

答 町長 来年度から積極的に、外部登用を考えていきたい。

までに広く検討するのととであったが、どのように検討したのか伺う。

答 町長 開発が増えれば、景観の保全や大雨時等の災害が危惧される。町の要綱は他自治体と比較しても遜色ない。

更なる規制強化により、条例化が必要であれば対応する。



▲早めにマイナンバーカードの取得を

※1 デジタル社会の構築に向けて自治体を取り組むべき各種施策。
※2 各自治体の情報を、外部のデータセンターで保有。複数の自治体で情報を共有すること。

次のページから一般質問

ただ 7名が町政を質す!



掲載ページ	質問議員	質問件名
P.15	いしがき まさひろ 議員 石垣 正博	1. 行政のデジタル化を急げ 2. 開発事業の規制強化を
P.16	たなか こ 田中みつ子 議員	1. 道の駅の進入路の改善を
P.17	ちば ゆうじ 議員 千葉 勇治	1. 味明地区内に設置予定のバイオマス発電所建設と地元同意について 2. 町内児童福祉施設におけるコロナ感染予防対策について 3. 補聴器購入への助成制度創設について
P.18	わが なおよし 議員 和賀 直義	1. 町長公約について 2. 希望する町民への更なるワクチン接種の円滑推進について 3. 学校における感染防止対策について
P.19	おおとも みつお 議員 大友 三男	1. 台風災害復興後の中粕川地区「まちづくり」について 2. 田中町長5期目に向かっての財政状況について 3. 町長報酬について
P.20	たかはし しげのぶ 議員 高橋 重信	1. 安全通路、確保の要望 2. グローバル化する中、外国人との共生は
P.21	あつみ ふみよし 議員 熱海 文義	1. 新型コロナウイルス感染対策について 2. 防犯カメラについて 3. 公約について



議員 千葉 勇治

地域住民・水利権者の同意を

今後は十分に説明し進める(町長)

問 バイオガス発電所建設について、町開発指導要綱に従わず、水利権のある一部対象地区住民に説明・同意もないまま造成工事が進められている。

答 町長 用地造成について、町が同意、県で許可したものの、施設本体は審査の対象外であり、造成に関する雨水排水については味明地区から同意をいただいた。これまでの説明会について、羽生地区が対象となっていないことが、指導不足と認識している。

問 町の認可は令和3年1月、県の許可は令和3年3月で、町の認可は県より早いのは、

答 まちづくり政策課長 議員の言うとおり、町が同意し、それをもって事業者は県の許可手続きを取っている。



議員 田中みつ子

道の駅の進入路の改善を

総点検して検討していく(町長)

問 大郷「道の駅」に観光バスが楽に入ってこられるよう入口を広くする考えは、

答 町長 観光バス等の大型車両の進入路については、これまで何度か改良を重ね、十分大型車両の進入・駐車スペースが確保できていると認識しているが、もう一度総点検して検討してまいりたい。

問 高速道路を降りて上下線に道の駅の看板の設置を増やすべきと考えるが、

答 町長 主要道路の各所に案内板を設置している。今後、町外からの誘客も視野に入れて、看板設置が必要な箇所について振興公社と協議していく。

問 新たな道の駅のパンフレットを作成し多くの観光業界に対しPRすべきでは、

答 町長 約3年前のリニューアル以降に作成したパンフレット2種類が最近のものになっていく。増刷が必要なタイミングで内容を調整しながら更新している。

問 道路沿いにある花壇には、サルビア・マリーゴールド等の明るい花を植えるべきでは、

答 町長 道の駅の花壇については、8月と9月に入ってから一部であるが花壇の植栽をしている。今後も季節に合わせて、来町いただいた皆様が自然と笑顔になれるような花や花木の植栽に取り組んでいただくよう、振興公社と連携していく。

問 観光客に対し接待の気持ちで花壇の手入れを、

答 農政商工課長 観光の拠点ということになるので、そういった気持ちの問題も含めて今後しっかりと対応いただくように町のほうからも要望していきたい。

地域住民・水利権者の同意を

問 最初に地域住民や水利権者に対する説明・同意が必要ではないのか。

答 町長 バイオガス施設の詳細な設計ができ次第、関係地区(羽生・山崎・味明・不来内地区)を対象に十分な説明会を開き、4行政区と事業者、町と環境に関する協定を締結していきたい。

教職員に定期的なPCR・抗原検査の支援を

問 町内児童福祉施設の職員・支援員に対するワクチン接種状況と定期的なPCR検査・抗原検査で保護者も幼児も安心して利用できる施設運営を行うべきでは、

答 町長 職員の9割近くが、2回の接種を終えている。定期的な検査については、現在実施の予定はない。今後の動向を注視し、必要に応じた対応を検討していく。

聴覚障害者に支援を

問 高齢者の社会参加やうつ病・認知症予防のためにも補聴器購入の助成制度創設を。

答 町長 実施している自治体の制度の調査や実態調査を行い、本町の助成制度について検討していく。



▲発電所用地の造成工事(味明地区)



▲観光バスが楽に入れる進入路の整備を

一般質問

一般質問



おおもとも 大友 三男 議員

復興後の活気ある中粕川を

実現に向け住民と議論を重ねる(町長)

問 復興事業は、中粕川地区の存続のためではないのか。

答 復興定住推進課長 持続可能なコミュニティ形成を目的として事業提案している。

問 田中町政5期目に向かい、中粕川地区復興後の活気あふれるまちづくりの明確な計画を示すべきではないか。

答 町長 詳細な復興計画の中で、防災機能強化、補助整備事業などと連携を図りながら、地区民と議論をしていく。

問 中粕川災害復興推進委員会の方々は、子や孫、玄孫の代まで定住させ、生き生きとした中粕川を作るといふ強い責任感をもって、約13億円の復興事業を要望したと思うので、その思い

問 復興事業は、中粕川地区の存続のためではないのか。

答 町長 次の世代が十分に復興を活かせるような事業を進めていく。

問 10年前の東日本大震災の時と同じように、国からの復旧復興事業のための補助金や寄付金などで、一時的に基金が増えたものであって、町債は増加している。将来の世代に負担を強いることになる。改善策を講じるべきでは。

答 町長 財政不足が懸念されるが、基金は増加している。起債は台風19号災害復旧事業などで増加しているが、交付税措置されることから、財政上問題ない。

問 町長4期目の事業執行による財政状況を、どのように評価しているのか。

答 町長 財政不足が懸念されるが、基金は増加している。起債は台風19号災害復旧事業などで増加しているが、交付税措置されることから、財政上問題ない。

財政の評価は



▲子・孫・玄孫の代まで定住できる中粕川を

5期目の町長報酬は

問 平成29年8月の町長選挙公約で、町長報酬50%カットしても何の問題も無いので、町民の福祉に使用したいと訴えていたが、5期目に向い報酬50%カット

はしないとのことだが、報酬を町民の福祉に使うのか。考えは無くなったのか。

答 町長 報酬の50%分を使わなくても、住民の福祉向上に貢献できる仕事をやっているわけではない。



わが なおよし 和賀 直義 議員

ワクチン接種の円滑推進を

時間外、集団接種は土日実施も(町長)

問 新型コロナウイルスワクチン接種率の現状と目標、進め方は。

答 町長 9月28日現在で2回目を終えた方が72%、10月中旬に80%を目指している。個別接種を基本に補完的に集団接種を行っていく。

問 若者が集まる場所に会場を設置し、予約なしで、そして就業時間外・休日にワクチン接種ができないか。

答 町長 医療機関にて時間外、休日も設定している。集団接種は、金曜日の夜間及び土、日曜日を行う。

問 学校の感染防止対策は

答 町長 子どもを感染から守るため、簡易抗原キットを学校へ配布し、迅速に結果を得るようにすべきでは。

答 教育長 プライバシー

問 感染しても無症状の人がいることを考えると検査がキーになる。仙台市、大崎市などで2千円くらいでPCR検査が可能だが、利用できないか。

答 町長 学校教育長 児童生徒に検査は考えていない。先生方には抗原検査等の実績はある。

町長選挙の公約

問 7つの重点政策の「結婚・出産・子育て支援」について、新たな施策は。

答 町長 「子どもの健康・子育て支援」をより充実させるため、「こども健康室」を設置した。多様なニーズに応えるべく、充実した支援を確実、スピーディ

「密閉」「密集」「密接」しない!

●「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意!

他の人と十分な距離を取る!	窓やドアを開けこまめに換気を!
屋外でも密集するような運動は避けましょう! 少人数の散歩やジョギングなどは大丈夫	飲食店でも距離を取りましょう! ・多人数での会話は避ける ・席と一つ席はしに座る ・互い遠くに座る
会話をするときにはマスクをつけましょう!	電車やエレベーターでは会話を慎みましょう!
5分間の会話は1回の咳と同じ	

▲未来のために 大切な人のために感染予防を!

問 育児・介護休業法が改正、ワークライフバランスを考慮し、男性も育児休暇を取りやすくするよう庁舎内で検討すべきだ。

答 総務課長 通達は来ていますが、まだ規則等の改正等には着手していません。

問 外国語教育充実への取り組みは。

答 町長 こども園から中学校まで、担当教員及びALT等による指導充実に努めている。

問 英語のコミュニケーション能力アップのため、ALTを増員し、子どもたちの触れ合い時間を増やせないか。

答 町長 学校教育課長 現状は考えていない。



あつみ 熱海 議員

防犯カメラの計画的な設置を

効果的な場所への増設(町長)

新型コロナウイルス 感染対策

問 新型コロナウイルスに感染した人たちの感染履歴などの調査をしているのか。
答 保健福祉課長 保健所から町に来る情報は公表さ

問 防犯カメラを計画的に設置する考えは。
答 町長 町内主要交差点には設置済み。効果的な場所への増設やより高性能の機種への更新を検討する。
問 ドライブレコーダーも犯罪防止につながると思うが補助金などの考えは。
答 町長 交通事故が起きた際の状況記録、あおり運転対策、車上荒らし対策など自己防衛的に寄与する面が大きい。補助制度設立の計画は考えていない。



たかはし 重信 議員

安全通路の確保を

事業者と協議していく(町長)

問 粕川後沢田畑、けやき坂ガーデンは民間業者による開発工事、令和元年6月分譲宅地29区画が完成、入居者は21世帯である。令和元年台風19号は吉田川の堤防決壊により甚大な被害をもたらした。県道側からの1カ所しかない進入路が冠水内水が1・5mの高さとなり車両を閉じ込めた。進入路は交通量が多く、子どもの歩行通学は大変危険であると大和警察署の見解である。入居者の方が区長を通じて団地の上部にもう1カ所、進入路が必要であると要望されているが、見解を伺う。
答 町長 区長からの要望により、開発事業者も交えて別の進入路や横断歩道設置などについて解決策を模索してきた。分譲地の上側

に進入路を設けるとなれば区画を変更するなど、事業者の協力が不可欠となることから。引き続き協議してまいりたい。

グローバル化する中、外国人との共生は

問 国際化が進んでおり、日本に数多くの外国人が来ており、町内でも数多く見受けられる。国籍はどこで、どのような職種・関連で来て、何人いるのか。
答 町長 8月末でベトナム25人、パキスタン24人、中国11人、12カ国から合計90人が住民登録している。在留資格は技能実習が全体の4割、職種は把握していない。

問 農村地域は空き家が多く、土地の価格が格安であり、外国人が購入していると聞かれますが町内はどうか。
答 町長 空き地・空き家バンクの登録者は4人で本町の利用登録者に対するニーズの把握に努める。

問 文化も習慣も宗教も違う移住者が増えてくるなら、

一般質問

れる内容しか報告がない。調査する権限もないし、調査する機会もない。
問 中和抗体検査ができる医療機関はどこか。
答 保健福祉課長 仙台圏で5件、多賀城で1件。
問 検査料金はいくらから。
答 町長 5000円から1万円前後となっている。
問 小・中学校でのオンライン授業の実施は。
答 教育長 非常時であっても学びを保障するため、スピード感を持って実現に取り組む。

公約のアスレチックパーク構想とは

問 どういうアスレチックパークを考えているのか。
答 町長 「えにし」の里山プロジェクト」構想は11のアクティビティゾーンに分け、空中を移動するワイヤーロープを伝って隣の沢に行ったり、オートキャンプ場、一般的なキャンプ場、サバイバルゲームの拠点、自然を生かしたライオンガルテン、それから乗馬クラブなどを専門家と考え

一般質問

生活環境の整備、またトラブル等も考えられることから条例が必要と考えるが所見を伺う。

答 町長 外国人に限らず生活環境の多様化や地方定

住などによって、文化や習慣などが異なる方々も増えているが、地域コミュニティなどを通じて、互いに暮らしやすい環境づくりが必要だと考えている。



▲進入路の設置を(けやき坂ガーデン)



▲防犯カメラで安全対策を

問 どの土地を考えているのか。
答 町長 緑の郷に行く途中の左側にある雑木山(旧大郷牧場、町有地、牧野組合所有地、私有地)を候補地として考えている。

し目的を達成したい。アクティビティは民間事業社の投資、運営により進めていきたい。

問 アスレチックパークの財源は。
答 町長 町の財政だけでなく事業は進められない。地方創生総合交付金などを活用

第6回 臨時会

8月6日 (金)

中粕川地区復興まちづくり宅地造成

1億1990万円で契約



▲早期に完了を



▲災害復旧工事 (B&G 野球場)

【議案第43号】
工事請負契約の締結
 中粕川地区復興まちづくり宅地造成
 工事(第1期)
 契約方 寺嶋建設工業(株)
 契約金 1億1990万円
 工期 令和4年3月18日
問 新たに宅地が欲しい方がいた場合には、土地に余裕はあるのか。
答 防災避難緑地帯を外して、住宅に変更し、必要な方には提供したいという考えである。

【議案第44号】 一般会計補正予算
 5公共施設の清掃業務に75万7000円を追加する。
問 今後外部委託するのか。
答 フラップ大郷21等、非常に大きい施設であるため、2、3名の体制での清掃が必要であり、今後も外部委託になる。
【報告第8号】 専決処分の報告
 令和2年度大郷町総合運動場内排水路災害復旧工事
 契約金額 239万5800円増
 変更理由
 打込み途中で硬い層にあたり、工法を変更するもの。

議案審議結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	石川良彦	若生寛	千葉勇治	石垣正博	高橋重信	和賀直義	石川壽和	熱海文義	田中みつ子	佐藤千加雄	大友三男	赤間茂幸	佐藤牧	吉田耕大	
第5回臨時会	報告第7号 繰越明許費繰越計算書の訂正について	報告のみ															
	議案第41号 工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第42号 工事請負契約の締結について	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第6回臨時会	報告第8号 専決処分の報告について	報告のみ															
	議案第43号 工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案第44号 一般会計補正予算(第4号) 52億6534万円(76万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

(↑)は増額、(↓)は減額 可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 継続:継続審査 退:退席 欠:欠席
 ※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

【議案第1号】意見書

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書(案)

【要旨】
 新型コロナウイルスの感染拡大は、各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いている。地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

- 提案者 石川 壽和議員
 賛成者 熱海 文義議員
 若生 寛議員
 千葉 勇治議員
 石垣 正博議員
 赤間 茂幸議員

― 全会一致で可決しました ―

国に意見書を提出しました(抜粋)

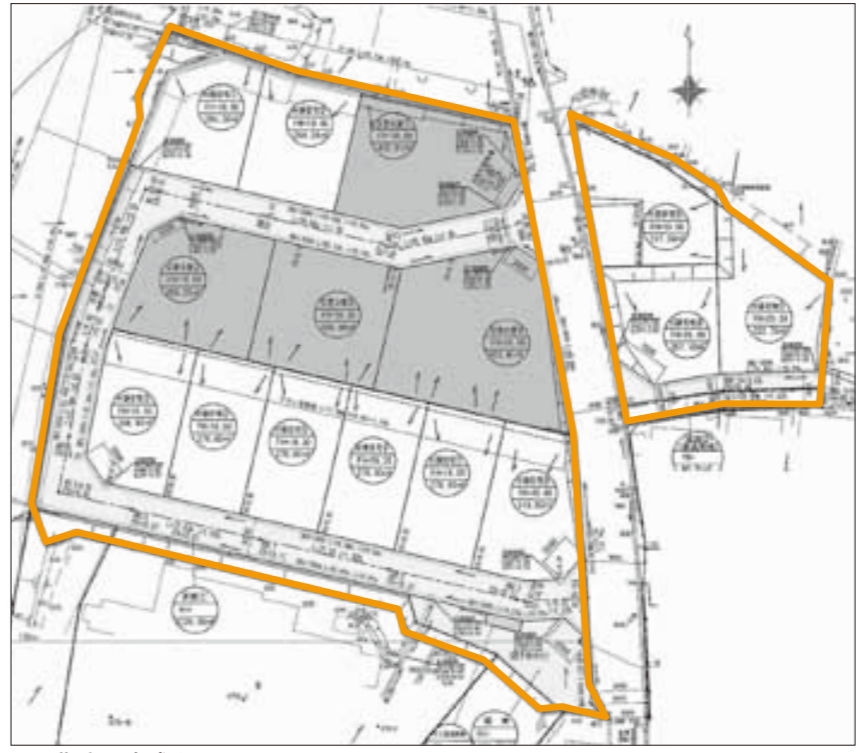
左記事項の実現を強く要望する。
 ○急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
 ○固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。
 ○炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、地方に税源配布すること。

第5回 臨時会

7月5日 (月)

中村原地区宅地造成工事

1億4300万円で契約



▲工期内に完成を

【議案第41号】
工事請負契約の締結
 粕川大橋添架管更新工事
 契約方 東海鋼管(株)仙台営業所
 契約金 1億6445万円
 工期 令和4年3月18日
問 本町で、今回の工事条件資格を持っている業者はいるのか。
答 本町にはいない。
【議案第42号】
工事請負契約の締結
 中村原地区宅地造成工事
 契約方 (株)高一建設
 契約金 1億4300万円
 工期 令和4年1月28日
問 工期を延長しないよう対応してほしい。
答 厳しく指導していく。

臨時会

臨時会

新しい

議会構成

です

第3回定例会において、
常任委員と議会運営委員が選任されました。

総務産業常任委員会

総務課、財政課、まちづくり政策課、復興定住推進課、税務課、農政商工課、地域整備課、会計課、農業委員会、選挙管理委員会、監査委員の所管に関する事項の調査等を行います。

- 委員長 熱海 文義
- 副委員長 佐藤 牧
- 委員 佐藤千加雄
- 高橋 重信
- 千葉 勇治
- 若生 寛

教育民生常任委員会

町民課、保健福祉課、教育委員会の所管に関する事項の調査等を行います。

- 委員長 和賀 直義
- 副委員長 吉田 耕大
- 委員 赤間 茂幸
- 大友 三男
- 田中みつ子
- 石川 壽和
- 石垣 正博

広報広聴常任委員会

議会広報の発行に関する調査、記録、取材及び編集等を行います。また、議会の広聴に関する調査等を行います。

- 委員長 佐藤 牧
- 副委員長 吉田 耕大
- 委員 田中みつ子
- 熱海 文義
- 和賀 直義
- 若生 寛

議会運営委員会

議会の運営を円滑に行うため、議会の運営方法を協議したり、議長から諮問された事項等について調査や審査を行います。

- 委員長 石川 壽和
- 副委員長 石垣 正博
- 委員 熱海 文義
- 和賀 直義
- 千葉 勇治
- 若生 寛



きめ細かな調査と速やかな改革を

議会改革調査特別委員会

7月14日 小委員会 IT化に関する調査報告

8月6日 第10回 2分科会の進捗状況について

議会のIT化に関する調査分科会及び議会基本条例に関する調査分科会

公社のさらなる経営改善を

おおさと地域振興公社に関する調査特別委員会

6月23日 第5回 令和2年度決算報告及び令和3年度における現況等について

7月5日 第6回 委員会のまとめ(中間報告)等について

将来に活かせる誘致を

企業誘致に関する調査特別委員会

7月29日 第2回 農業法人の進捗状況及びドローン特区申請の今後等について

議会の主な動き (7/1~9/30)

月日	用務	月日	用務
7/1	建町記念式典	8/4	議員全員協議会
7/2	広報広聴常任委員会		第6回臨時会
	議員全員協議会	8/6	第10回議会改革調査特別委員会
7/5	第6回おおさと地域振興公社に関する調査特別委員会		議会運営委員会
	第5回臨時会	8/23	議員全員協議会
7/9	議会改革調査特別委員会(議会基本条例に関する調査分科会)	8/31	議員全員協議会
7/13	宮城黒川地方町村議会議長会定例議長会議	9/3	議会運営委員会
	広報広聴常任委員会	9/7	議会運営委員会
7/14	総務産業常任委員会・教育民生常任委員会	9/13	JA新みやぎ大郷穀類乾燥調製貯蔵施設落成式
	議会改革調査特別委員会小委員会	9/14~30	第3回定例会
7/15	宮城県町村議会議長会議員講座	9/14	広報広聴常任委員会
	北方領土返還要求県民フォーラム	9/16	議員全員協議会
	宮城県民会議総会	9/21	秋の交通安全総ぐるみ運動
7/16	宮城県町村議会議長会議員講座	9/22	議会運営委員会
7/19	仙台北部道路建設期成同盟会総会		議員全員協議会
7/29	第2回企業誘致に関する調査特別委員会	9/24	広報広聴常任委員会
7/30	ドローン特区推進協議会	9/26	粕川地区復興まちづくり・堤防復旧合同安全祈願祭並びに合同着工式
8/2	中村原地区宅地造成工事起工式		
	宮城黒川地方町村議会議長会正副議長・事務局長研修	9/27	広報広聴常任委員会

委員会

危険ブロック塀の解消を

地域整備課

町では県と共同でブロック塀の点検を行っており、令和2年度までに63箇所
の点検を実施し、安全対策に努めて
きました。

現在、県主体の危険ブロック塀の点
検範囲は、学校周辺500m範囲内となっ
ておりますが、点検範囲以外でも要望
があれば町で点検を行っていきます。

また、「ブロック塀の点検のチェック
ポイント」を広報誌やホームページに
掲載し、地震などの災害に強い、安全
安心なまちづくりを推進してまいりま
す。

(議会広報189号 追跡レポートより)

その後の対応と今後の計画

危険ブロック塀の除却にかかる補助
は全地域を対象に継続して行っており
ます。

また、県では学校周辺500m範囲内
の対象者に定期的に訪問・通知をして
おり、町でも広報誌やホームページで
広く周知しております。引き続き、制
度活用の促進や安全管理の意識づくり
に努めてまいります。 **地域整備課長**



県による点検

自然保護条例等の制定を

企画財政課

大雨が予想される時は、あらかじめ沈
砂池の浚渫や排水路の点検を行い、土砂の
流出が起きないように指導しています。

また、道路への土砂流出が確認されたと
きは、事業者の責任において速やかに撤去
作業を行うよう指示しているところです。

今後も立ち入り調査やパトロールを通じ
て適切に指導監督してまいります。

(議会広報189号 追跡レポートより)

土砂採取場の沈殿池は県の開発許可に
沿った設置との説明であったが、小規模で
大雨などの際に河川への流出が懸念される。

本町の開発指導要綱があるが制限するこ
とはできないため、開発行為により大雨な
どの自然災害や里山の景観保存を考慮し、
本町独自の自然保護条例等を制定すべきで
ある。(令和元年度予算審査意見書)

その後の対応と今後の計画

昨年の開発事業については、小規模太陽
光発電事業の件数が増加していることから、
農業委員会等の関係部署との連携により、
案件の受付時点から指導強化と開発地の事
前確認等を行っています。

また、土砂採取事業者に対する災害防除
及び大雨等における現地確認の徹底と災害
発生時の対応については、引き続き強く指
導してまいります。

規制の強化や自然保護のあり方について
は、要綱改正や条例化等、各方面の意見を
参考に検討してまいります。

まちづくり政策課長

教育民生 常任委員会

7/14



ICT授業風景

【調査の概要】

大郷小学校において、授業風景を視察
し、ICT教育の現状についての説明を
受けた。また、ICT環境が整備され全
児童がタブレット端末を臆することなく
操作していた。

【意見】

1. 先生方のICT教育に対する意欲の向上を図り、学習に対する創意工夫も期待されるため、研修会を設けるよう努められたい。
2. 各家庭でもオンライン学習ができるよう、ICT環境の把握、通信費用等の補助が必要である。経済的理由による教育環境の格差は防ぐべきあり、早急の整備を検討されたい。
3. 児童・生徒たちがどの程度理解しているのか、その実態を把握し、授業の進むペース配分や補佐する人手が不足していないかなどの課題があると考える。宝の持ち腐れにならないように努められたい。
4. 教育委員会が小・中学教育について一貫した教育指針で取り組んでいる中で、ICT教育の指針についても、もっと入り込んで連携した取り組みに努められたい。

次回は

「廃棄物処理の現状について」
を調査します。

総務産業 常任委員会

7/14



浚渫を終えた西光寺川

【調査の概要】

西光寺川を視察し、その後味明川及び
新堀川を県土木事務所担当者より説明を
受けながら現場を視察した。その後、役
場において地域整備課から説明を受け調
査を行った。

【意見】

1. 西光寺川の浚渫工事を400メートルにわたり実施しているが、西光寺川と滑川が交わった下流付近は土砂の堆積があるので、県に工事の着手を早急に要望すべきである。
2. 味明川は統合堰の計画があるが早急に進められたい。また、内水対策も県に要望すべきである。
3. 新堀川、鶴田川について下流部の河道掘削が計画されているが、上流部の支障木を先行して伐採すべきである。このことについても県に要望すべきである。
4. 河川の土砂堆積は山林の開発が原因と考えられる。開発許可について、昨年度都市計画マスタープランの見直しなども実施されたことも受け、さらなる上位計画との整合を図り本町のまちづくりを進められたい。

次回は

「交通安全対策について」
を調査します。

河川の土砂撤去
県に要望を

委員会

インタビュー



大郷卓球スポーツ少年団

監督 たかはし けいすけ 高橋 圭扶 さん
 コーチ こ わか子 わか子 さん



いつから卓球部はあるのですか？
 1985年（昭和60年）。
 団員は何名？
 小学生11名、中学生8名です。
 教えているときに気を付けていることは？
 子どもが主役になるよう心掛けています。
 これまで印象に残っていることと今後の目標は？
 今年7月に小学生が全国大会に出場しました。今後全国大会出場選手を育てることと、町内で卓球大会を開催することです。
 町に望むことは？
 卓球台などの用品の改善・充実とフラップ大郷21などの施設も利用したいです。

次回定例会

予定 12月2日(木)から
午前10時～
 12月7日(火)まで

令和2年3月定例会より、ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube（ユーチューブ）」にて、配信しています。右記のQRコードよりご覧になれます。



編集後記

今年最後の議会広報204号をお届けいたしました。今回の広報委員は新たなメンバーでしたが、知恵を出し合い力を合わせて編集しました。取材にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。ございました。そして読者の皆様、最後まで読んでいただき心より感謝いたします。どうか感想などお寄せいただけたら幸いです。

厳しい行財政運営が続きますが、町民の皆様と議会と執行部が一丸となつてまちづくりできますように、今後も広報作りに邁進いたします。

佐藤 牧

広報広聴常任委員会

編集委員

- 委員長 佐藤 牧
- 副委員長 吉田 耕大
- 委員 田中みつ子
- 委員 熱海 文義
- 委員 和賀 直義
- 委員 若生 寛